

2012年11月2日(金)・3日(土)

三条の湯・飛龍山(2077m)

レポート by 熊本

今回はクマさん会として未踏の飛龍山(2077m:奥秩父)への挑戦です。

堀さん(リーダー)、川島さん、岡部さん、布目さん、能勢さん、熊本の6名が参加しました。

飛龍山は山梨側の名前で埼玉側では大洞山の呼び名だそうです。



立川から青梅で奥多摩行に乗り換える。



奥多摩駅に川島さん、岡部さん、布目さん、能勢さん、堀さん(リーダー)と熊本の6名が9時30分に集合した。



奥多摩駅の直ぐ隣に大木戸稻荷があり、祈「登山安全」の幟があり、出発前に安全登山祈願をする。



9:40発の「鴨沢西」行のバスに乗り、終点の鴨沢西まで行く。



9:40 出発時点には数名立っていく程の登山客で超満員であった。



終点の鴨沢西には 10:15 に到着し、10名ほどの登山客が降りた。



登山準備を終え写真を撮って出発する。
リーダーの堀さんを除く他の 5 名は、
ゴロ の登山靴だった。
クマゴロ チームか？



休日なら丹波行のバスがあり、「お祭」で下車となるが、金曜(平日)は鴨沢西までとなり、「お祭」まで約 20 分弱歩くことになる。



「お祭」バス停（標高 560m）
近くに民宿が一軒あるだけ？



「お祭」の先を更に数分進む。



車道右側に「雲取山・飛龍山」の大きな
標識が現れた。
「三条の湯」へ 10km、徒步約 3 時間と
あった。
本日はこの「三条の湯」泊である。
幅広の林道を行くと秋の名残の花に出
会う。



リュウノウギク？



ウゴアザミ



ウメバチソウの一種？



ジンジソウ



リンドウ



色着いた葉がチラホラと見え出す。



後山川に沿って上流に向かって、舗装された長い林道を歩く。



山肌は緑、黄、赤に染められこれから紅葉のピークを迎えようとしている。



前方中央に明日登る飛龍山の尾根が
見えてきた。

青空が広がり雲一つない。



傾斜の緩やかな林道を黙々と進む。



途中、左手にワサビ田があった。



林道に入り 1 時間 30 分歩き、塩沢橋
に到着、丁度林道の中間点だ。



東京水道水源林の標識



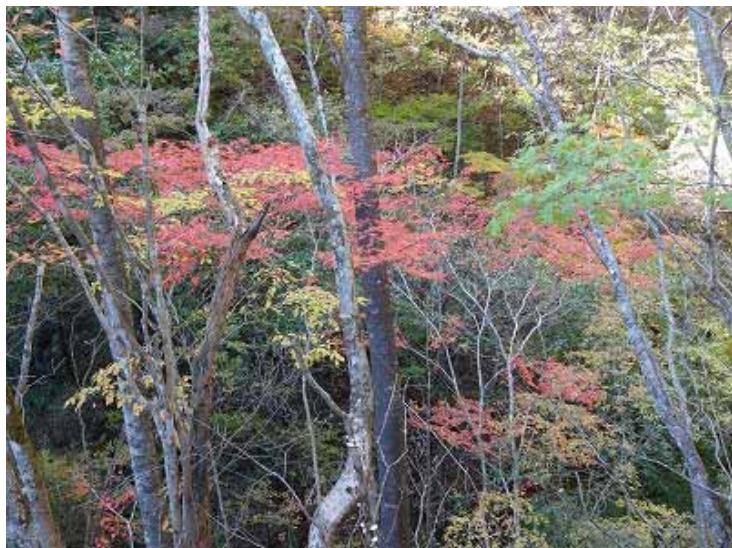
ここで暖かい日差しを浴びながら昼食とする。



後山林道で、鮮やかな紅が青空に映える



林道が延々と続き



単調な林道歩きに、周囲の移り変わる紅葉が何とか変化を付けてくれる。



塩沢橋から更に 1 時間半で後山林道が終わり、やっと山道に入る。(標高 930m)



ヤット登山らしくなり傾斜もきつくなる



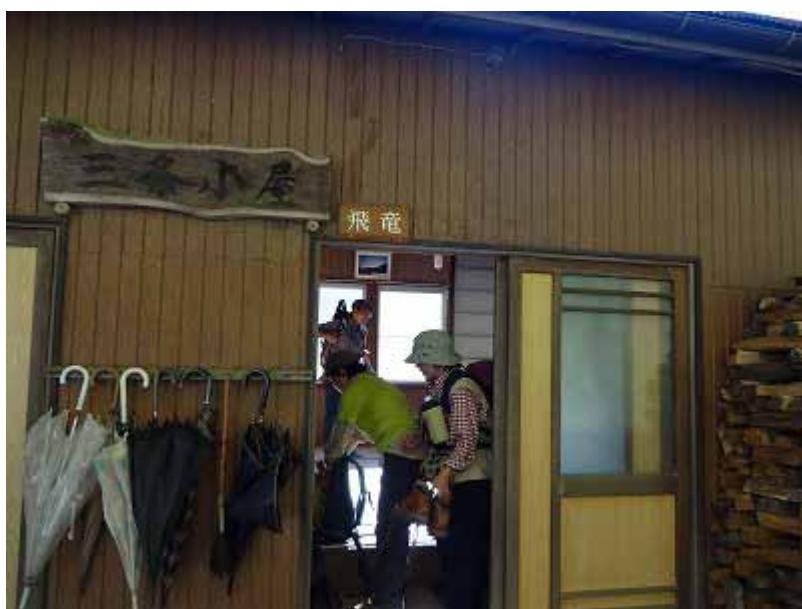
30 分ほど登ると下の沢に赤と青のテントが二張見え、上を見れば三条の湯の小屋が見えた。



本日の終着「三条の湯」に約 15 時到着。



三条の湯の裏手に見事なもみじの紅葉



早速チェックイン（一泊二食¥7,500、
翌日のお弁当¥700-）
幸いなことに 10畳の個室で、部屋名
は明日登る「飛龍」であった。



荷を部屋に降ろし、見事な紅葉を写真に撮り、温泉に入る。

温泉の源泉は約 10 度で勿論加温しているが、つるつるのアルカリ泉だ。



温泉で温まったあとは夕食まで時間がタップリあり、堀さん持参の赤ワインで始まり、能勢さん、熊本の焼酎が全て空になった。



17:30 夕食時は、全員出来上がっていったが、ワンカップ二つで乾杯。

夕食後、再度温泉で温まり明日に備えて 9 時前に就寝。



3日（二日目）は4:30起床。
5:30朝食を食べて、小屋で記念写真を撮って出発（6時）



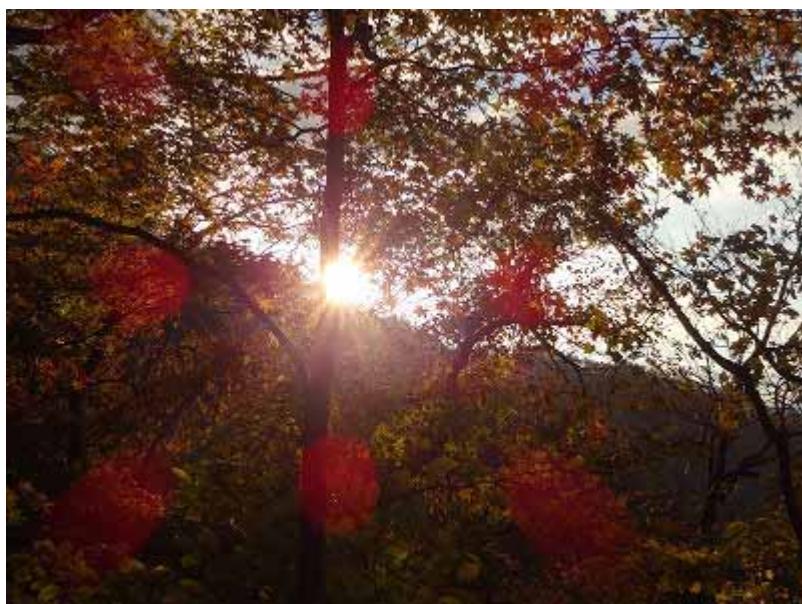
東京では6時10分頃が日の出時間だが、山に囲まれた三条の湯の日の出は遅く、出発時点ではまだ薄暗い。山小屋の裏手から雑木林の樹林帯のジグザグ登山道が始まり、いきなりの急登りである。



カンバ谷の源流までの「中の尾根」を堀さん、川島さん、岡部さん、布目さん、能勢さん、熊本の順で登る。



落ち葉を踏みしめながら「中の尾根」を登る。



丁度、6:53 に右手の尾根上から朝日が昇ってきた。



日の出の写真を撮ろうと夢中でカメラを構える。



紅葉の中に高度を稼ぐ。



歩き始めて約 90 分、7:28 にカンバ谷の水場に到着し補給する。

これが東京水道水の源流である。

ここまででは予定のペースできた。



カンバ谷の源流から孫左工門尾根になる。

8:05 赤く色づいたカエデ



孫左工門尾根の谷間山肌の紅葉



切れたった谷間に木道で整備が行き届いている。



3 センチほどの霜柱が其処、此処に見られる。



この時期には珍しい霧氷に出会う。



8:56、北天のタル（1910m）に到着、予定より25分遅れ。上側の登山道は「三条ダルミ・雲取山」方向へ、下側の登山道は、今我々が来た「三条の湯」の方向である。



北天のタルに来て雲取山頂（左端）から七つ石への尾根が始めて見えた。



北天のタルから山頂まで更に標高差
170mほど高度を稼がねばならない。

切り立った岩の登山道を慎重に登る。



岩尾根の登りとなり・・・



深く切れ込んだ急斜面のトラバース。



飛龍山山頂から下りの「ミサカ尾根」が真っ赤に染まっているのが分かる。

ここから飛龍山頂を巻いて飛龍権現まで 40 分の行程であるが、途中に近道があると言われた。

コメツガの樹林とクマ笹が茂る登山道となり 15 分ほど進むと、一見して分岐のような道があり、堀さん、能勢さんはこれが近道と思いトライするが、熊本と女性陣はどうも怪しいと二人と別れて本道を更に進む。



先程の分岐から 15 分ほど進むと小さな木片の標識があり、これが目的の山頂への直登近道のようで、我々はこの直登を登り始めると、堀さん、能勢さんが先の獣道に見切りをつけ戻ってきた。



飛龍山頂までは直登で約 10 分で山頂に到着した。(9:45)



山頂から飛龍権現まではシャクナゲ林となっており 6月頃はシャクナゲの花のトンネル登山道となっていることだろう。



下ったところが飛龍権現の小さな祠



ここは笠取山、雲取山、飛龍山の分岐となっていた。



我々はサオラ峠の道に向かう。
10:20 で予定より 20 分の遅れである。
飛龍権現から直ぐのところに「禿岩」
があり、絶好のビューポイントであつたが、見落としてしまい、そのまま下ってしまった。



「禿岩」を見逃してしまったが、展望の良い岩尾根に出て、此処を「第二禿岩」と命名した。(11:25)



第二禿岩を下ると

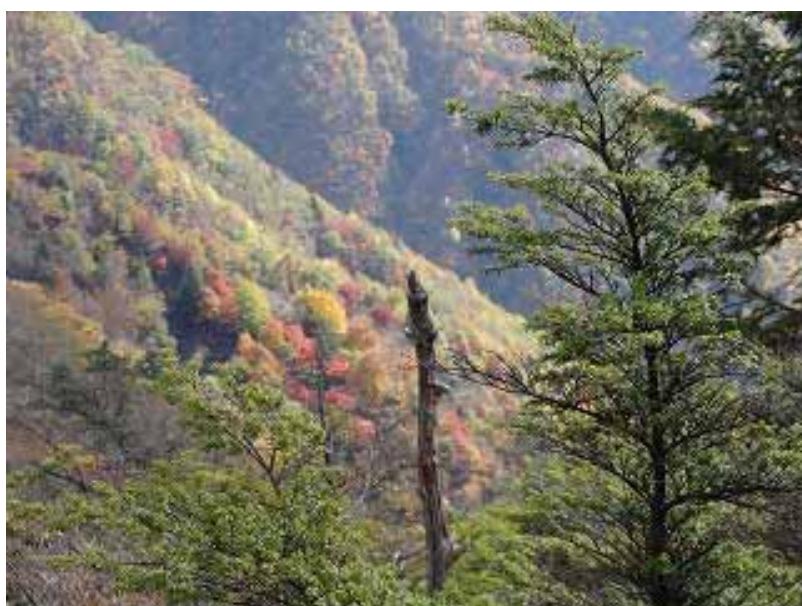


前飛龍であった(1954m)11:27.ここで昼食を取ることにした。弁当は混ぜ寿司で結構旨かった。



前飛流からサオラ峠に向かう。

こから行くミサカ尾根でこの先にサオラ峠がある。



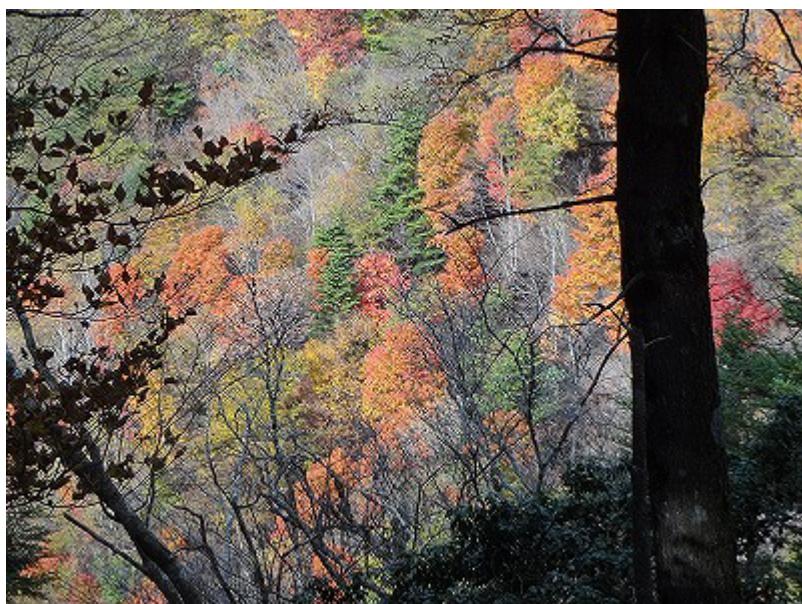
ミサカ尾根の下は紅葉で綺麗だ。



岩尾根の急斜面を慎重に下る。



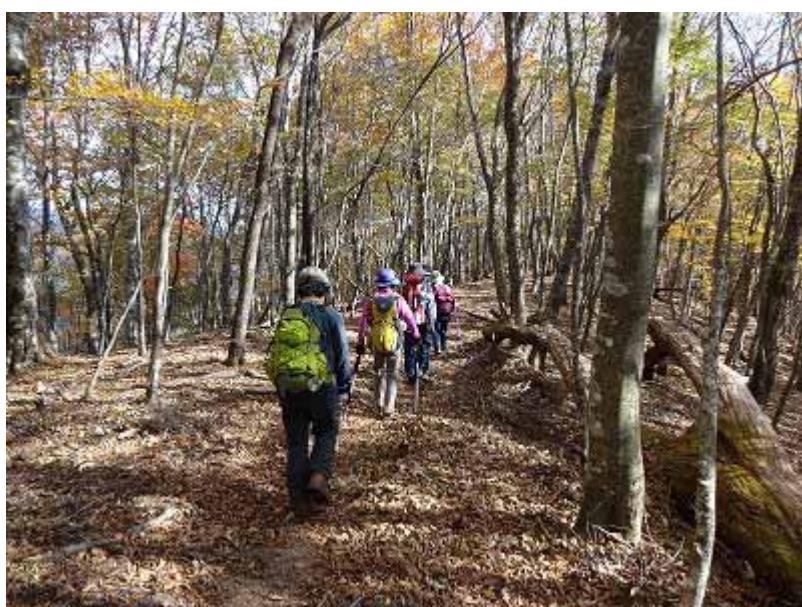
ミサカ尾根は紅葉が綺麗だった。



ミサカ尾根から左側の栗山尾根を見ると紅葉に彩られてそれは見応えがあった。



13:06 1624mの熊倉山（火打岩）に到着。
飛龍山頂(2077m)から標高で 450m下った。しかしこまだ 1000m以上の下りが残っている。
頑張ろう！



足が重くなったが、頑張って麓の丹波を目指す。



標高 1000mを下り、足は重くなつたが、残り標高差 500mを頑張るぞ！



15:30 丹波村の入口に到着。
無事山頂から標高差 1500m を無事下
りきった。ここから丹波バス停まで 15
分



丹波バス停まで更に 20 分かかり、
日帰り温泉「のめこい湯」に到着
(16:10)。



のめこい湯の紅葉



今日は朝 6 時に三条の湯を出発し、飛
龍山頂まで標高差 1000m を登り、丹
波まで標高差 15000m を下って約 10
時間の行程でヤット温泉に入り二日
間の疲れと汗を流し、元気を取り戻し
て乾杯！



奥多摩 19:24 発の電車で帰路に着きました。

お疲れ様でした。

今回は二日間とも天候に恵まれ、紅葉も十分に堪能できた。

それよりも二日目は「三条の湯」から「飛龍山頂」までの標高差、約 1000m の登り、「飛龍山頂」から「丹波」まで約 1500m の下りを、多少時間は掛かりましたが、全員無事下山出来たことが何よりでした。

ガイドブックを読み直したら、このコースは健脚向とありました。

全員、良く頑張りました。